

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月 6日更新

事務事業名		農集特別会計予算編成執行事務			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	水道局	課長名	水野 孝春
	施策	10	水環境の保全		所属課	上下水道課	担当者名	主事 中山 大志
	基本事業	30	水質の浄化		所属班	庶務料金班	(内線)	1164
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方公営企業法、地方自治法、消費税法、農集条例	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	農業集落排水特別会計の効率的で無駄のない予算編成・決算・差引(支払い)事務等を行う。議会・監査等の資料作成及び対応。合併前の旧西合志町にて農業集落排水事業に着手すると同時に住民の衛生的で快適な生活、河川の水質保全、下水道施設の整備及び維持管理等健全な運営を行うため、また、その財源確保のために開始。農業集落排水整備事業は終了しており、維持管理が主な運営業務である。 近年は財政事情の悪化により、財源の確保が厳しくなっている。 消費税の確定申告については、年々複雑に、また合併による公債費の旧団体毎の管理など、業務にかかる業務時間が大幅に増加することが予想され、平成19年度に税務署の算定ミスなどの還付等でも解るように税務署でさえもミスが生じている。3-5年毎に異動のある職員が対応するにはかなりのリスクを負わざるを得ない。期間限定でも税理士に委託、若しくは相談できる環境を整えるべきである。(税務署については、基本的には個別対応はしないとのことであった。)
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	予算書・決算書・提案理由・説明資料・監査資料・調書等の作成及び対応、消費税の確定申告・納税、予算差引
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、公課費、予備費
【意見や要望】	議員より一般会計繰入金の抑制努力をするよう意見・要望がある
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動) (DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・前年度の決算分析、本年度予算編成、決算、差引事務・議会、監査等の資料作成及び対応	・前年度の決算分析、本年度予算編成、決算、差引事務・議会、監査等の資料作成及び対応
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 農業集落排水特別会計予算額	千円 消費税の中間申告額及び確定申告額の減に伴う減
イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・農業集落排水特別会計	(単位) 千円
	→ ア 自主財源額(農業集落排水特別会計)
	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・効率的で無駄のない予算編成を行う。(歳入規模に見合った歳出予算となっているか、事務事業の目的にあった事業内容となっているか)	(単位) %
	→ ア 自主財源割合(農業集落排水特別会計)
	イ
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
使用料等による自主財源確保は必要不可欠であり、自主財源割合を上げることにより、一般会計からの繰入額も抑制できる。	
総トータルコスト全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
① 活動指標	ア	千円	86,378	83,118	83,178	83,781	88,103	83,073	85,000	85,000	
	イ										
② 対象指標	ア	千円	18,019	18,213	17,290	17,936	17,765	17,834	17,834	17,834	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	20.8	21.9	20.8	21.4	22	22	22	22	
	イ										
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円					500	500	500	500
		繰入金	千円	1,558	1,690		1,491	1,590	1,700	1,700	1,700
	一般財源	(A) 事業費計	千円	1,558	1,690	2,140	1,491	2,090	2,200	2,200	2,200
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	40	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	8	7	7	7	7	7	7	7
		延べ業務時間	時間	290	278	280	555	280	280	280	280
(B) 人件費計	千円	1,154	1,145	1,153	2,241	1,153	1,153	1,153	1,153		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,712	2,835	3,293	3,732	3,243	3,353	3,353	3,353		

事務事業名	農集特別会計予算編成執行事務	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 各世帯とも節水意識が高くなり有収水量の伸びには期待できないが、料金改定や接続率の増加等で目標達成につなげていく。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ①平成20年度に使用料を改定しているが自主財源割合はまだ低い状態である。 ②自主財源確保のため使用料見直し等の対策が必要である。平成23年度より3年を目途に使用料の改定を計画している。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現状、最小限のコストで経営を行っている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人件費については、下水道特別会計で管理しているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 農業集落排水事務事業は、公益性の高い事業であり公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 農業集落排水事業は、自主財源だけでは運営できない状況にある。現時点では公共事業として運営すべきである。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>①平成20年度に使用料を改定しているが自主財源割合はまだ低い状態である。 ②自主財源確保のため使用料見直し等の対策が必要である。平成23年度より3年を目途に使用料の改定を計画している。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成23年度より3年を目途に使用料の改定を計画している。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 使用料の改定に向け、住民の理解を得る。</p>																						